北海道大学

博士課程教育リーディングプログラム

「One Healthに貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プログラム」

奨励金受給者のガイドライン

１． 奨励金支給の目的

　博士課程教育リーディングプログラム「One Healthに貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プログラム」（平成23年度採択）の趣旨に則り、本プログラムに選抜された優秀な学生が、高度な専門性をもって動物とヒトの健康維持および生態系の保全に貢献できる獣医科学グローバルリーダーとして活躍する人材となるために、経済的な負担と不安を軽減し、大学院学生が学業に専念できるよう奨励金を支給するものです。この理念を肝に銘じ、奨励金受給者として相応しい態度で学業に専念しなければなりません。

２． 支給期間

　原則会計年度単位とします。会計年度末毎の受給資格審査の結果、継続して受給資格有りと認められた場合、最長で標準修業年限内（4年間）支給を受けることが可能です。

３． 支給方法

　　受給者の銀行口座に振り込みます。支給額については別途連絡します。

４． 公表

　本奨励金の受給者はリーディングプログラムHP上で、氏名・学年・所属研究室を公表します。

５． 受給者の責務

５-１）リーディングプログラムに関連する行事ならびに教育研究活動などへの参加協力

　奨励金受給者はリーディングプログラムが主催あるいは関連する行事ならびに教育研究活動などへの参加協力の責務があります。

５-２）修学状況報告書の提出

　奨励金の受給開始後、毎月末に修学状況報告書（別途様式）を国際連携推進室・リーディング大学院担当に提出すること。

５-３）受給資格審査

　受給開始後、会計年度末毎に受給資格審査申請書（別途様式）を提出して受給資格審査を受けること。申請書の提出については、国際連携推進室・リーディング大学院担当から連絡します。

６． 重複支給等の制限

　学術振興会特別研究員、日本学生支援機構奨学金貸与者、日本政府文部科学省による国費外国人留学生、日本学生支援機構学習奨励費、海外政府機関等が支出する留学生向けの奨学金のうち他の奨学金等の重複受給が制限されている奨学金の受給者、などは本奨励金を受給することができません。また、本奨励金受給者は、原則としてアルバイトにより収入を得ることはできません。

７． 支給の停止

　受給者の責務を怠った場合、奨励金の支給を停止することがあります。また、受給資格審査により修学状況および成績等に問題があると認められた場合、奨励金の支給を停止することがあります。本奨励金支給開始後に、「４．重複支給等の制限」に該当する事項が派生した場合は、奨励金の支給を停止します。

８． 返済および返還

　本奨励金は給付型につき返済の義務はありません。ただし、奨励金支給期間中に社会規範を著しく逸脱する行為等を行った場合には、受給資格不適格と判断し奨励金の返還を求める場合があります。

９． その他

　本奨励金は、経済的な負担と不安なく大学院学生が学業に専念できるための支援ですが、受給に甘んじることなく、支給開始後も、より高いレベルを目指して学業に励み、学術振興会特別研究員あるいはこれに類似する制度に採用されるよう、継続してこれらの制度に応募すること求めます。

１０． 支給開始までに必要な事務手続き　　(継続の場合、下記は必要としません)

　以下の書類を「獣医学研究科・国際連携推進室・リーディング大学院担当」まで提出して下さい。

１）　誓約書（継続の場合は不要）

２）　口座振込申込書（　 〃 　）

３）　通帳のコピー　（　 〃 　）

４）　学生証のコピー（ 〃 　）

１１． 支給期間中に必要な提出書類

１）修学状況報告書の提出

　奨励金の受給開始後、毎月末に修学状況報告書を国際連携推進室・リーディング大学院担当に提出すること。

２）受給資格審査

　受給開始後、会計年度末毎に受給資格審査申請書を提出して受給資格審査を受けること。申請書の提出については、国際連携推進室・リーディング大学院担当から連絡します。

12. その他

　奨励金は雑所得となるため課税対象となります。従って、所得税が源泉徴収される他、2年目以降は住民税の課税対象となります。

北海道大学

博士課程教育リーディングプログラム

「One Healthに貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プログラム」

[本件に関する問い合わせ先]

獣医学研究科：国際連携推進室・リーディング大学院担当

内線9545 E-mail：leading@vetmed.hokudai.ac.jp

北海道大学

博士課程教育リーディングプログラム

「One Healthに貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プログラム」

奨励金受給者修学状況報告書

修学状況報告書

平成○○年○月の修学状況を以下の通り報告致します

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 奨励金受給者氏名 |  | 所属教室 |  |
| 提出年月日 | 平成○○年○月○○日 |
| 当該月の修学状況 |  |
| 奨励金受領確認欄 | □ | 受領しました | □ | 受領していません |
| 平成　　年　　月　　日奨励金受給者　署名：　 　　　　 　　　　　　　　印　指導教員　氏名　　　　　　　　　　　　　　　 　　印 |
|  |  |

毎月月末までに、国際連携推進室・リーディング大学院担当まで提出すること

北海道大学

博士課程教育リーディングプログラム

「One Healthに貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プログラム」

奨励金受給資格審査申請書

受給資格審査申請書

　次期（平成　年　月〜平成　年　月）の奨励金の受給を希望するので、受給資格審査を申し込みます。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申請者氏名 |  | 所属教室 |  |
| 奨励金受給期間の修学状況、研究の進捗状況、研究成果等を詳細に記載すること（必要に応じて欄を広げて記載すること） |  |
| 申請者署名 | 平成　　年　　月　　日奨励金受給者　署名：　 　　　　 　　　　　　　　印　 |
|  |  |

国際連携推進室・リーディング大学院担当まで提出すること

北海道大学

博士課程教育リーディングプログラム

「One Healthに貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プログラム」

奨励金受給辞退届

受給辞退届

次期（平成　年　月〜平成　年　月）の奨励金の受給については、以下の理由により辞退いたします。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申請者氏名 |  | 所属教室 |  |
| 辞退理由（他の奨学金を受給している等） |  |
| 申請者署名 | 平成　　年　　月　　日奨励金受給者　署名：　 　　　　 　　　　　　　　印　 |
|  |  |

国際連携推進室・リーディング大学院担当まで提出すること

北海道大学

博士課程教育リーディングプログラム

「One Healthに貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プログラム」

奨励金受給者受給資格審査申請書（研究活動調書）

研　究　活　動　調　書

|  |  |
| --- | --- |
| 申請者氏名： | 学年： |

当該期間内の成果等について記入すること

|  |
| --- |
| １．原著論文および著書：全著者名，題目，雑誌名・巻号・ページ・発行年原著論文記入例：Song C.-H., Honmou, O., Furuoka, H. and Horiuchi, M. Identification of chemoattractive factors involved in the migration of bone marrow-derived mesenchymal stem cells to brain lesions caused by prions. J. Virol., 85: 11069-11078, 2011（提出時には削除して下さい）著書記入例：堀内　基広　医科ウイルス学(高田賢蔵　編)　スローウイルス感染症とプリオン病　pp437-449, 2009　南江堂（提出時には削除して下さい） |
| ２．学会発表（筆頭演者に○を付ける）：全著者名，題目，発表学会名・開催日時・場所国際学会記載例：○Sassa, Y., Yamasaki, T., Hasebe, R., and Horiuchi, M. Characterization of prion infection in differentiated mouse neurospheres. Prion2011 Montreal, Canada, May 17-19, 2011. （提出時には削除して下さい）国内学会記載例：○山崎剛士、鈴木章夫、長谷部理絵、堀内基広　クラスリン依存性エンドサイト−シス阻害剤処理によるPrPScの細胞内局在の変化　第58回日本ウイルス学会　徳島　2010年11月7日（提出時には削除して下さい） |
| ３．学会賞など：受賞者名，受賞の名称，受賞タイトル，授与団体，受賞日日本獣医学会奨励賞，狂犬病ウイルスの分子疫学的解析，日本獣医学会，平成23年3月29日（提出時には削除して下さい） |
| ４．その他（特筆すべき事項があれば記載して下さい） |

必要に応じて欄を広げて下さい